

8月26日(月)

 今日のカ

2024年8月26日～9月1日

翻訳 浦部 言

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
 ※翻訳者・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

九人はどこにいるのか

聖書朗読 ルカの福音書 17:12~19

イエスの足もとにひれ伏して感謝した。彼はサマリヤ人であった。

ルカ 17:16

あなたの祈りが応えられた時、祈りに応えてくださった方に感謝しているでしょうか。今日の聖書箇所に出てくる九人のように、願いが叶えられても、「神様ありがとうございます」と言わずに離れてしまっていないでしょうか。病にある人のために熱心に祈り、その人が回復した時、感謝の祈りができていることはどれくらいあるでしょうか。

今、思い出しても恐ろしい出来事ですが、ある時、妻の体調がとても悪くなりました。私は妻を急いで病院に連れて行きました。妻は何日も集中治療室で治療を受けました。私は神様が彼女を癒してくださると信じていましたが、彼女のために祈り続けるためには教会の支えが必要でした。1週間ずっと、私は彼女の回復のために祈り続けました。そして、彼女は徐々に回復し、家に帰ることができました。

私の祈りに応えてくださったのは紛れもなく神様です。教会の人たちは、妻のことを祈禱課題のリストにあげ、心に留めて祈り続けてくださいました。妻が回復したあと、私は神様に感謝し、賛美の祈りを教会の祈禱課題にあげてもらおうよう、お願いしました。私たちの祈りが応えられた時、すぐ次の課題に取り掛かることは簡単です。しかし、神様がしてくださったすべてのことを覚え、感謝し、賛美することを忘れないようにしましょう。

讚美歌 90 ここもかみの みくになれば

祈り 主よ。あなたは何度も私の祈りに応えてくださいましたが、あなたがしてくださったことに対して、神様をあがめることをしませんでした。みわざを見て戻れなかった私たちをお赦しください。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。



ワシントン州 カーランド / ジョージ・モーテンセン

8月27日(火)

唯一無二の神

聖書朗読 ヨハネの福音書 1:1~3

これに耳を傾けよ。ヨブ。神の奇しいみわざを、じっと考えよ。 ヨブ 37:14

私と妻の定年後の楽しみは、トレーラーに乗り、州立公園など山が見える場所に行くことです。都市の暑さや喧騒、日々のやることリストから離れ、神様と静かに過ごし、素晴らしい創造物を楽しめます。何年もの間ずっと、私たちは神様の作品の美しさ、芸術性そして遊び心に感動しました。野の花や鳥、あらゆる種類の動物、川、湖などいたるところに神様のみわざを見ることができます。

空気が凜としている朝に、息を呑むほど輝かしい朝日を見ながら飲むコーヒーの美味しさに気づきました。夜には、外に座って星の数を数え、天の川の美しさや、明るい星や惑星の数に圧倒されます。

時々、私は創世記1章を開き、神様がどのように『天と、天の天と、その万象、地とその上のすべてのもの、海とその中のすべてのものを造』られたのかに思いを馳せます。(ネヘミヤ 9:6) 神様はお造りになったすべてのものを見られて、非常に良かったとされました。(創世記 1:31) 旅の行く先々において、私たちはへりくだり、神様の偉大さ、力強さ、権威を感じるのです。

讚美歌 295 やすしや 罪の世にも

祈り 天の父よ、私たちが楽しみ探検することができる、この世界を造ってくださり感謝します。私たちが見逃して当たり前だと思っているものが沢山あります。私たちの目を開き、あなただけが唯一無二の神で、天と地の全てを創造された造り主であることを忘れないようにさせてください。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。



テキサス州 ミッドランド / ボビー・ラニー

8月28日(水)

御父の家を思う熱心

聖書朗読 ヨハネの福音書 2:13~17

弟子たちは、「あなたの家を思う熱心がわたしを食い尽くす」と書いてあるのを思い起こした。 ヨハネ 2:17

幼い時に、旧約聖書のハバクク書の聖句をもとに作られた賛美を歌っていたことを思い出します。“主は、その聖なる宮におられる。全地よ、その御前に静まれ。(編注:ハバクク 2:20) 静まれ。静まれ。主の御前に静まれ。”という歌詞でした。この賛美は、全き聖なる、そして崇高な神様の前で礼拝を行うために、私たちの心と思いを整えるために歌われていました。

今日の聖書の箇所はヨハネ 2:13~17で、イエス様は過越の祭りのために主の宮に上られたことが書かれています。しかし、そこは静かさ、神聖さ、敬意のある場所とはかけ離れていました。そこでイエス様が目にされたものは、騒がしく、混沌とした宮の中で不正な商売が行われていることでした。人々の捧げ物を調べる者が不正を働いて、人々からお金をだまし取っていたのです。ですからこのような状況をイエス様は見過ごし許すことができずに、細なわでむちを作って、すべてのものを追い出されたのです。

また、使徒パウロはコリントI 3:16~17において、私たちクリスチャンは現代の神の宮であり、神の御霊が私たちのうちに住んでいると述べています。パウロは、聖なる宮を神に反する生き方によって壊すなら、神がその人を滅ぼされると警告しています。

聖霊の宮である私たちの心と身体を清く保つために、私たちのどのような思い、態度や行動を自分の生活からなくしていく必要があるか吟味してみましょう。

讚美歌 298 やすかれ わがこころよ

祈り 主よ、あなたは私たちに、あなたと同じように清くあることを求められます。あなたへの敬意を持ち聖なるものとなれるよう、私たちの身体と霊を汚すもの全てから私たちを清めてください。イエス様の聖なる御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

テキサス州 グランベリー / ジャン・ノックス

8月29日(木)

大きな見出し

聖書朗読 ヨハネの福音書 14:1~3

これらのことをあかしする方がこう言われる。「しかり。わたしはすぐに来る。」
アーメン。主イエスよ、来てください。 黙示録 22:20

人生が変わるような出来事を書いた過去の新聞を見ると、見出しが非常に大きなフォントで書かれています。例えば、真珠湾攻撃や、ケネディ大統領暗殺、人類最初の月面着陸、2001年9.11(アメリカ同時多発テロ事件)などです。編集者はできる限り大きなフォント(字体)を使ってインパクトのある見出しにします。そのようなフォントは“再臨フォント”と言われるようになりました。納得ですよ。きっとキリストの再臨の時は、キリストの誕生・復活以来の大見出しのニュースとなることでしょう。

キリストの再臨は起こります。今日の聖書箇所、ヨハネ14章を読むと、イエス様が弟子たちに約束されたことが思い出されます。『…また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしのいる所にあなたがたをもおらせるためです。』(ヨハネ 14:3)。私たちはその日その時がいつかは分かりませんが、絶対に起こるのです。『ただし、その日、その時がいつであるかは、だれも知りません。天の御使いたちも知りません。ただ父だけが知っておられます。』(マタイ 24:36)

キリストが再臨される時、私たちは次のことを確信しています。『それは、イエスの御名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるものすべてが、ひざをかがめ、すべての口が、「イエス・キリストは主である」と告白して、父なる神がほめたたえられるためです。』(ピリピ 2:10~11)

讃美歌 170 いさみて仰げ

祈り 神様、あなたは決して私たちを忘れることなく、イエス様が再臨され、私たちをあなたとの永遠に導いてくださるというお約束を感謝します。その時が来たら、王なるイエス様が私のために、すべての主にある子どもたちのために来てくださることを喜びます。主イエスよ、来てください。イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

テキサス州 アマリロ / ダニー・マイズ

8月30日(金)

無条件の愛

聖書朗読 ヨハネの福音書 15:9~17

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠の命を持つためである。

ヨハネ 3:16

最近、みことばを通して私は、イエス様が十字架によって私のためになされたことのとてつもない代償と重要性を学びました。私たちは皆、イエス様が私たちの代わりに十字架にかかり犠牲となられたことを知り、その贖いに感謝しています。(ペテロ I 1:18~19) イエス様は、罪の奴隷だった私たちを自由にし(ヨハネ 8:34,36) 死の恐怖につながれて奴隷となっていた私たちを解放してくださいました。(ヘブル 2:14~15)

ひとり子イエス様が十字架上で苦しみ悶えている様子をご覧になって、父なる神様がどれほど耐え忍ばれたかを考えてください。神様の私たちへの愛は、私たちの想像を遥かに超えているのです。

この福音の根幹である真実を私は忘れてしまうことがあるのです。忘れないようにするために、毎日、神様にイエス様が私のためにどれだけの犠牲を払われたかを思い起こさせてくださいと祈っています。

私たちが、イエス様が私たち一人ひとりのために十字架でされたことを思い、心の霊において新しくされ(エペソ 4:23)、救い主であるイエス様への信仰と愛が増し加えられますように。(ペテロ II 1:1)

聖歌 402 おかにたてるあられずりの

祈り 天の父なる神様、あなたのみことばの力を理解するのを助けてくださる

聖霊の賜物をありがとうございます。イエス様の御名によってお祈りします。
アーメン。



コロラド州 カノンシティー / ロン・グロース

8月31日(土)

神様の心になつた者となる

聖書朗読 使徒の働き 13:16~25

それから、彼を退けて、ダビデを立てて王とされましたが、このダビデについてあかしして、こう言われました。『わたしはエッサイの子ダビデを見いだした。彼はわたしの心になつた者で、わたしのこころを余すところなく実行する。』

使徒 13:22

なぜダビデは神様の心になつた者と呼ばれたのでしょうか。ダビデは神様に従う者とは言い難いくらい多くの罪を犯しました。しかし、ダビデについて学ぶ中で、彼の心は常に神様に向けられていたことに気づきました。ダビデは多くの罪を犯しましたが、その度に悔い改めたのです。

神様のみこころになつた者と呼ばれることは何と光栄なことでしょうか。私たちは自分の心に目を向ける必要があります。この世はたくさんの嘘と悪に溢れていて、神様から目を離してしまったら、すぐにそれらに陥ってしまいます。ヨシュア 24:23でヨシュアは、『「今、あなたがたの中にある外国の神々を除き去り、イスラエルの神、主に心を傾けなさい。」』と言っています。

神様に心を傾けるということは神様に委ねることです。歴代誌Ⅱ 16:9には『主はその御目をもって、あまねく全地を見渡し、その心をご自分と全く一つになっている人々に御力をあらわしてください。』と書かれています。

私たちは神様におゆだねする必要があります。神様の御心になつた者となりましょう。

讚美歌 291 主にまかせよ 汝が身を

祈り 天の父なる神様、どうか私たちがあなたに完全に心を向けることができますように。私たちに力を与えてください。主よ、あなたを愛します。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

テネシー州 コルドバ / ジュディー・キルマー

9月1日(日)

手放して神様に委ねる

聖書朗読 ローマ人への手紙 8:1~4

こういうわけで、今は、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。なぜなら、キリスト・イエスにある、いのちの御霊の原理が、罪と死の原理から、あなたを解放したからです。 ローマ 8:1~2

何かを手放すことは簡単なことではありません。私たちは、背中が曲がるほど重荷を背負って神様のもとに来た老人のようです。神様にその重荷を取り除いてくださいと祈ります。しかし、祈り終えた時、私たちはその重荷を負ったまま立ち上がり去って行くのです。神様に重荷を委ねたいと思っても、手放し方が分からないのです。

私たちは祈り赦しを求めることができますが、同時に罪や罪悪感という重荷を手放さないといけなのです。赦された罪は、私たちがそれを手放し、神様の赦しと癒しにおゆだねすると決心しなければ、重荷であり続けるのです。

時に私たちは、神様の恵みを受けるに相応しくないと感じて自らを罰したり、罪悪感を持ち続けることによって謙虚にふるまっていると勘違いしたりします。しかし、それは間違いです。罪赦された後も罪悪感にしがみつくと高慢であることなのです。

あなたは神様に愛されています。神様はあなたが神様のもとに行く時、赦してください。神様は恵みに満ち溢れた方なのです。神様は私たちの罪を赦し、私たちに罪悪感を持たずに、自由に生きてほしいと願われているのです。まず私たちがイエス様を受け入れなければ、どのようにして福音を宣べ伝えることができるでしょうか。罪を手放し、神様に委ねましょう。

讚美歌 294 みめぐみゆたけき

祈り 父よ、あなたがイエス様によって私たちの罪をすべて赦されたことを知っています。私たちの問題は、私たち自身が自分の罪を許せないことにあります。今日、私はあなたの前に罪の重荷を置き、あなたにおゆだねします。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

テキサス州 サンアントニオ / タミー・クロス